

最新線

障害のある子供たちが通う特別支援学校で、キャリア教育の一環として就業体験(インターンシップ)の導入が進んでいる。将来目指す職業を決める若生徒の適性を見たり、生徒が働くことへの自信をつけたりする貴重な機会になるという。障害者の雇用を進める企業側も、受け入れには前向きだ。(新美舞)

■「自信」になった

1月末、東京都西東京市にあるオアシスビル。都立志村学園などの校の高等部の生徒4人が、郵便物の仕分け作業を体験した。

障害者の雇用を進めるため、損害保険大手SOMPOホールディングスが設立した特別子会社「SOMPOチャレンジ」(西東京市)での就業体験だ。

同社が近くの都立田無特別特別子会社。障害者を持つ従業員が5人以上、全従業員に占める割合が20%以上といった条件があり、厚生労働省から認可を受ける。特別子会社で雇った障害者の人数は、親会社の雇用者数に合算される。

特別支援学校 就業体験広がる

3/15の特別支援学校高等部の生徒31人を対象に募集し、夏、秋の年3回、1週間前後実施している。

1月の就業体験は「日曜郵便物の仕分け」のほか、各部署で使う文房具を作業部屋の棚から必要数だけ取り出し、保険証書の見本をスキャナーで読み取って保存したりした。

参加者の一人で、軽度の知的障害がある都立永福学園2年の男子生徒(17)は最初、社内便の仕分けを間違えたが、その後、同じミスをしないうちに心がけた。「経験ではさきのことと仕事がこなせないうち、自信になった。将来は事務の仕事をした」と笑顔を見せた。

適性見極め、意欲向上に



社員(右)の助言を受けながら、社内便の仕分け作業をする特別支援学校高等部の生徒(1月29日、東京都西東京市のSOMPOチャレンジで)

■増える雇用機会

企業が就業体験の受け入れが進む背景には、障害者の雇用機会が増えたこともある。

民間企業に義務付けられた障害者の法定雇用率は、2018年4月1日、2.0%から2.2%に引き上げられ、来年4月まで2.3%となる。厚生労働省の昨年の調査では、障害者の雇用促進を目的とした特別子会社の数は17社と、10年前の倍近くに増加した。特別支援学校卒業生の一般企業への就職率も増加傾向にある。

田無特別支援学校で進路指導を担当する福祉教諭は「障害がある生徒は長時間の移動が難しく、近くに就業体験の受け入れ企業が増える」とあり

大百科 vol.040

1964年東京

柔道・無差別決勝で勝利したヘーシク選手は、喜びのあまり裏に上がろうとする関係者を止め、礼を重んじる人として称賛されたよ。エールレイドもバトル後に礼儀正しい行動をしそうだね。

【エールレイド】やいはホケモン 高さ1.6m、体重52.0kg 伸び縮みするヒジの刀で戦う。居合の名手。礼儀正しいホケモン。相手の考えを敏察にキセツする能力を持つ。月曜から土曜までの読売新聞朝刊に掲載中。 PilemonNews

「保護者や教員以外の大入と話すことが慣れていない生徒が多い。わからないことは勇気を出して聞けた経験だけでも大きな意義がある」と語る。

■遠隔実習も

障害が重く、企業への訪問が難しい生徒には、インターネットを活用した遠隔実習も行われている。

奈良県立明日香養護学校は今年度から、通信機器メーカー「沖電工業」の特別子会社「沖ワーカー」(東京都港区)の遠隔実習に参加した。

障害者が在宅勤務をする社員向けに、同社が開発したシステムを活用。高等部2、3年の生徒が5日間、パソコン上で社員から指示を受け、表計算ソフトで請求書を作成するなどの作業を行った。

三浦道彦・進路指導主任は

「NPO法人・在宅勤務支援事業団(熊本市)は特別支援学校の要望を受け、今年度から遠隔実習を本格実施する。これまでの実践では、作業マスを付けてヘッドセットで聞くことが多く、男性生徒も参加。パソコンデータ入力の作業をしたことで、正確に手際よくできることがわかり、「仕事はこなせないうち」に、自分も働けた」と感想を述べた。

全国特別支援学校校長会の田村康一朗副会長(都立光明学園統括校長)は「就業体験の機会が拡大し、障害がある生徒が持っている能力や可能性、魅力が企業側にも伝えられる場が増えればよい」と語る。

学が育む

ウェブ教材 無料で提供

新型コロナウイルスの感染拡大による一斉休校を受け、民間の教育事業者などがインターネット上で学習教材やスポーツの指導を受けられるサービスを提供している。

教育事業大手ベネッセコーポレーションは、小中高生向けの「春の総復習ドリル」を急ぎで作成した。解答、解説とともに同社ホームページ（HP）からダウンロードできる。学年別につまみ食いしやすいポイントを示し、3学期までの学習の総まとめができるという。

児童書の絵本など約1000冊の電子書籍もHP上で23日午後1時まで読める。

教育関連商社の内田洋行は、小中学校を対象に、学研

プラスや教育出版といった教育関連会社の動画教材やデジタルドリルを利用できるようにした。算数で正多角形を描くプログラミング教材や理科の実験・観察の動画も含まれており、4月5日まで無料利用可能だ。

民間の教育事業者が無料提供している家庭学習用の教材



一斉休校でドリル ■ 書籍 ■ スポーツ指導

用が可能だ。

小中高生向けに、パソコンやタブレット端末を使い、英語の発音を聞いたり自分の発音の正確さを確かめたりできるサービスも4月30日まで無料で提供する。学校や教育委員会などに申し込む。

小学館集英社プロダクションは今年3月31日までの期間限定で通信教育「まなびウィズh（ウィズ）」の教材を小学生に無料提供する。国語と算数の問題、解答をHPからダウンロードでき、担当者は各学年で1年間の総復習ができる。進級に向けて活用しても「いい」と話す。

通信大手のソフトバンクは、学習や運動の指導をオンラインで受けられるサービス「スマートコーチ」を4月30日まで無料提供できる。

教員らが授業や運動のレッスンの様子を撮影して専用アプリ内に投稿すれば、児童生



徒が閲覧できる仕組みで、チャットで質問することもできる。逆に児童生徒が運動の様子などを撮影して投稿し、指導者からアドバイスを受けられることも可能だ。

全国の小中高校や学習塾、スポーツ教室などの教育機関が対象で、指導者が申し込み、利用対象となる児童生徒らにIDを発行する。通信費は自己負担で、申し込みは今

月23日まで。

休校期間中の学習を支援する民間事業者などについて、文部科学省は「子供の学び応援サイト」(https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index_0001.htm)「経済産業省が学びを止めない未来の教室」(https://www.learning-innovation.go.jp/covid-19/)で紹介している。

先生からメッセージ募集

新型コロナウイルスの感染拡大で一斉休校中の子供たちに向けて、先生からのメッセージを掲載します。学校は子供たちに伝えきれなかった思いや過ごした方のアドバイスなどについて教職員の方々からの投稿を募集します。

氏名、勤務先の学校名、役職、年齢、連絡先の電話番号、メールアドレス（あれば）を明記し、400字以内で読売新聞東京本社教育部「先生からメッセージ」へ一紙ノンメール(kyouiku@yomiuri.co.jp)か、ファックス(03-3277-6008)でお寄せください。